

Japan Rice Peace Project

武漢への政府チャーター機の支援物資にも使われた ライスクッキー 東京都へ 50万食を出荷 オリ・パラで高齢者, HALAL, アレルギー用に配慮して備蓄

○ 中越地震、東日本大震災から生まれた米粉のクッキー ○



パレットに積んで139枚。出荷を待つ

2003年から米粉パンに取り組み、中越地震で食事制限者に配慮した備蓄食がなかったことから、だれでも食べられるバリアフリーな非常食の開発を独自に開始。12年前から(株)美松の協力で食物アレルギー対応の米粉クッキーが完成しましたが、鳴かず飛ばずの日々……。

5年前に尾西食品(株)が参加し販売を担当して、全国の自治体への備蓄が進みました。今回はオリンピック・パラリンピック施設への備蓄。

アレルギー27品目不使用の備蓄品では最大規模になります。

○ 熊本地震で埋もれてしまう食物アレルギー支援で実力発揮 ○

熊本地震では本震の翌日には、ライスクッキーを長岡市から南阿蘇村、益城町の病院、避難所に支援をしました。全国から支援物資は届きますが、食物アレルギー対応の食料は殆どなく被災した行政や病院、食物アレルギー患者からの要請で、ライスクッキー6,200食を9ヶ所に配布しました。

新潟生まれのだれでも食べられるバリアフリーなライスクッキーが避難者の食の支えになりました。

日時：2020年6月15日(月) 13:00～

内容：東京都備蓄用「尾西のライスクッキー」50万食 10,000箱
積込・出荷(10tトラック9台分)

場所：(有)エコ・ライス新潟 倉庫

参加：(株)美松(製造所、クッキーを開発したパテシエ)、(有)エコ・ライス新潟(米生産者団体)



熊本県から要請があり拠点病院、熊本医療センターに最初に届けた。



上益城町の病院の医師達に説明。アレルギー対応食がなく困っていた。



食物アレルギーの児童。安心して食べられる支援物資はなかった。

【Japan Rice Peace Project】



マークの意味

「八十八」の米作りの手間を横にしたら2つの無限「∞食のバリアフリー」「∞循環」になります

事務局 (有)エコ・ライス新潟：豊永 有

〒954-0181 長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL0258(66)0446 携帯 090-6458-5535

e-mail: office@eco-rice.jp HP: <http://www.eco-rice.jp/>



Onisi

